

ハロー&ハロー

No.54

発行：社会福祉法人わかたけ

〒510-0961 三重県四日市市波木町1335-1

電話 059-321-4149 FAX059-321-4167

URL/<https://wakatake-mie.com>

2025年 8月 5日発行



みんなでカラオケ

海辺を散策



レクリエーションは 明日への力

公園でお花見



電力館テラ46



焼き芋大会



日常の生活とは違う「ドキドキ、ワクワクする楽しい体験」ができるのがレクリエーションです。「仕事もがんばろう！」と明日からの活動へのエネルギーになっていきます。皆さんの希望を聞きながら、みんなが楽しめるレクリエーションを工夫していきます。

(城野)

らふかつと

販売の報告に、 みんな笑顔

新型コロナウイルス感染症が流行していた間は外部の販売機会が減少していました。時が経ち、流行も落ち着いてくると、徐々に活動が再開され、販売に出向く機会が増えてきました。

5月3日(土)、四日市ドームにて四日市市レクリエーション大会が開催され、初めて出店をしました。

このレクリエーション大会は、さまざまなスポーツを体験できるイベントでした。小さなお子さんから大人まで、多くの方々が参加して楽しんでいました。らふかつとの仲間も遊びに来て、ゲートボールに挑戦、スティックの持ち方が分からず、教えて貰いながら練習し、ボールが入ると喜んでいました。

初めての参加だったため、支援員だけの販売になりましたが、来年は仲間と一緒に販売活動に取り組んでいきたいと思っています。

また、さまざまな場所で販売活動をした後、みんなに報告し合います。

「いくら売れました!」、「販売に行って完売しました!」、「一番人気は〇〇でした。」と報告し合うと、みんな笑顔になり拍手が起こっています。(黒田)



販売活動のあとは、らふかつとに戻って、報告会をします。お客さんが多く、たくさん買っていた日は、みんなの顔から笑顔がこぼれます。



四日市ドームで行われ、たくさんの人でにぎわった「四日市市レクリエーション大会」でも販売させていただきました。

わかたけホームすまいる

～ 仲間の暮らしをささえる場所 ～

わかたけのグループホーム（通称：小古曾ホーム、貝家ホーム）は、現在、総勢 16 名の仲間が入居しています。

グループホームの支援には、食事・入浴・排泄・掃除等、毎日の生活を支えるものと、日用品の買い物や散髪、通院、行政手続き、選挙の投票、お墓参り、他の福祉施設に入所している家族への面会への同行等、個別の要望に寄り添うものがあります。できるだけたくさんの個別の要望に応え、日帰り旅行やキャンプ、クリスマス会といった季節の行事も増やしていきたいところですが、職員体制上の限界もあり、もどかしさがあります。

親亡き後の生活の道筋を

また、貝家ホームの仲間は開所当初、週末は自宅に帰っていましたが、今では週末も利用する仲間が増えています。

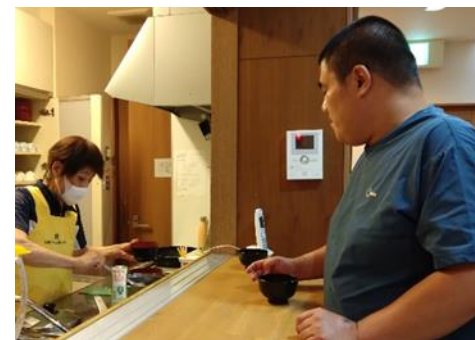
さらに、わかたけ萩の里・らふかつとから約 10 名の仲間が、『月に 1 泊、2 泊 3 日、3 泊 4 日』『不定期で、年間数日』等、それぞれの事情に合わせた体験利用をされていて、“親なき後の生活の道筋を…”というニーズの高まりを強く感じています。

一方で、「親なき後の生活は心配だけど、今はまだ自宅での生活を続けていきたい」という、家族の思いを伺うことも多くあります。家族として一緒に過ごしたいという思いの他にも、集団生活がうまくいかずに他の仲間や職員に迷惑をかけてしまうのではないかという心配や葛藤があるようです。

しかし、実際の仲間の様子を見てみると、職員の想定を大きく超えて変化への対応力を発揮して、体験初日から“長年いるグループホームの一員”のように落ち着いた雰囲気です、楽しそうに過ごす仲間がいます。グループホームに入居している仲間からも「〇〇さんは、次はいつ来るの？」と質問が出る等、体験者が来ることを楽しみにしている様子があります。もちろん、経験を重ねることで力を蓄える仲間もいるため、見学や短時間の利用から始めることもできます。

仲間や家族の願いに応えるグループホームであり続けられるよう、最善を尽くしていきたいと思います。

（橋本）



（上） 買い物に出かけて、靴やリュックを買いました （下） 夕食の調理の様子をカウンター越しに眺めています

「わかたけ」とともに生きた Yさんの半生に乾杯！

Yさんが、わかたけ萩の里に通うようになったのは、平成10（1998）年の8月でした。わかたけが、社会福祉法人になる前のまだ「無認可作業所」の頃でした。お母さんとの二人暮らしで在宅の人がいるからと、市役所からの連絡でした。

Yさんは当時、45歳。わかたけの10人たらずの仲間は、20歳代が中心でしたので、年齢の高いYさんを受け入れることに不安もありました。しかし、そんな不安をよそに、若い仲間たちと一緒に頑張って畑仕事やアルミ缶つぶしに汗を流すYさんの姿に頼もしさを感じました。

わかたけに通うようになって4か月がたったその年の12月、Yさんのお母様がお病気で亡くなりました。Yさんは、その家で一人暮らしをすることになりました。ご飯は自分で炊いて、おかずは近所に住んでおられた妹さんご夫婦のところにもらいに行っていました。わかたけの送迎で作業所に通っていましたが、毎日お母さんの位牌に手を合わせることは忘れませんでした。

自転車で近所の店に買い物に行ったりしていましたが、訪問販売の人が訪ねてきて騙されそうになったこともありました。

そんな生活が5年ほど続きましたが、その間にわかたけは法人を取得し、笹川にグループホームを開設することになりました。Yさんもこのまま一人暮らしを

職場体験でわかたけに来ていただいた中学生から感想を寄せていただきました。一部、紹介させていただきます。

「静かに作業をしていた私に、仲間が話しかけてきて「こういうときはこうするんだよ」と教えてくれました。自分のことだけするのではなく、周りに気配りができて感心しました。」

「缶つぶしでどこから缶を投げてもコンテナに入るすごい利用者さんに感動したこと、農作業で皆さんと一緒に固い根っこを必死に抜いたこと、昼休みにボールや折り紙で利用者さんと遊んだこと、大相撲の話をしたり、「クズレンジャー」を聴いて楽しかったこと、たくさんのことを経験することができました。」

「仲間の皆さんと一緒に作業をすることは、簡単なことばかりではないので、職員の皆さんのたいへんさも知ることができました。」

（四日市市立内部中学校2年生の皆さん）

続けることへの不安もあり、グループホームで生活することになりました。そのころのグループホームは、夜間は職員がいないこともありましたが、まったくの一人暮らしに比べればずっと安心でした。ホームの入居者は、男性5人。皆、わかたけ萩の里か、らふかつとに通っていました。

その後、精神的に不安定になり、入院した時期もありましたが、グループホームからわかたけ萩の里に通う安定した生活が続きました。グループホームも笹川から小古曽の今のところに移転しました。

休日には、ホームの近くの小古曽駅から電車に乗って、日永にあるスーパーに出かけることが日課になり、生活の幅が大きく広がりました。ホームの皆と一緒に毎年の一泊旅行やキャンプに出かけることも、楽しみになりました。

Yさんとわかたけとの関わりを振り返ってみました。そんなYさんは今年6月、その生涯を終えられました。72歳でした。

その人生の後半をまさにわかたけの歴史とともに生きたYさん。その半生に敬意をささげ、感謝とともに、ご冥福をお祈りいたします。
(笠井)



ホームの仲間たちと、一泊旅行で日間賀島に行きました。(2018年5月)

地元の中学生の 職場体験の感想から

少林寺拳法の皆さんには、わかたけが社会福祉法人の設立をめざした20数年前に、資金集めなどでたいへん力になっていただきました。それ以来一貫してわかたけと仲間たちを応援していただいております。

今年も四日市少林寺拳法祭にお招きいただき、わかたけ萩の里やらふかつとの仲間たちが作ったクッキーを綱引きの景品に使っていただき、図書カードをプレゼントしていただきました。また、参加の皆さんにアルミ缶を持ち寄っていただきました。

今年も、少林寺拳法祭に
お招きいただきました

今年もやいます！！！！ わかたけカレンダー 🐼

わかたけ萩の里の仲間たちは、クレヨンや絵の具を使って、自由に描いた絵をもとにしてオリジナルのカレンダーを製作しています。絵を描くのは、グループを超えてみんなで取り組みます。

カレンダー用の紙は、牛乳パックのパルプをリサイクルして紙すきで作ります。パルプをちぎる、ミキサーで攪拌する、枠を使ってすく、押さえて水分をとる、といった工程を経て仲間たちが分担して作った手作りの紙ができあがります。



みんなで作り上げた紙すきの紙に、みんなが描いた素敵な絵。

「かわいいね～きれいだね～」と会話が飛び交います。真剣なまなざしで絵を描く仲間、クレヨンや絵の具の準備、相手を思いやり譲り合ったりする行動に心動かされました。

それぞれの思いがこもったわかたけ萩の里の仲間らしいカレンダーが出来上がるのがとても楽しみです。

きっと今年も素敵なカレンダーが出来上がる予感です(^ ^) (小林楓)



仲間たちが一筆一筆思いを込めて描き、一枚一枚紙をすいて作った、心のこもった手作りのカレンダーです。

ささえる会のページ 笹川春まつりにバザー出店しました

わかたけが、笹川春まつりにバザーを出させていただいたのは、10 数年ぶりのことです。笹川は、らふかつとがある地域でもあります、30 年以上前の無認可作業所わかたけの開設の頃も、笹川地区の行事にはよく参加させていただいて、地域に根ざすきっかけを作ってきました。

笹川のこのような行事は、地区のサークルや団体が構成する地区協議会が主催して運営されており、今回も 15 を超える団体が参加しました。

わかたけの明日をささえる会が行った「輪投げゲーム」は、たくさんの子供たちで賑わい、行列ができていました。皆さまのご協力で提供していただいた景品のぬいぐるみやおもちゃも、早い時間でなくなりました。

また、らふかつとやわかたけ萩の里の仲間たちが作ったクッキー、パウンドケーキや手芸品、アクセサリも販売させていただき、皆様にお買い上げいただきました。



(上) 輪投げには子供たちの行列ができました

(下) 仲間たちが作った手芸品やクッキーを買っていただきました。

あなたもわかたけの応援団に！

「わかたけの明日をささえる会」への

ご入会・ご更新のお願い

「わかたけの明日をささえる会」は、障害のある人たちのことを地域の人とともに考え合い、仲間たちの未来を拓くために活動しています。ご入会・ご更新をよろしくお願いいたします。

一般会員（個人）	年会費	1 口	3, 0 0 0 円
賛助会員（団体）	年会費	1 口	1 0, 0 0 0 円
郵便振替	0 0 8 3 0 - 9 - 1 3 0 2 4 3		
名義	わかたけの明日を ^{あす} ささえる会		

「おこしやす券」をご活用ください

「ささえる会」にご入会・ご更新いただいた方に、「おこしやす券」をさし上げています。

わかたけ萩の里やらふかつとの仲間たちの手によるクッキーや野菜などのご購入に、またわかたけのイベントなどでもご利用いただけます。ぜひともご活用ください。

新職員の紹介



戸田 智也 です

6月より、わかたけ萩の里のリサイクルグループにお世話になっています。未経験ですが、先輩方のご指導のもと一生懸命頑張っていきたいです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



小林 拓翔 です

4月より萩の里の畑グループでお世話になっております。慣れない作業も多いですが、仲間の皆さんに教わりながら、ともに成長していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



田中 智代美 です

第4ホームの休日の日勤です。先輩方のアドバイスのもと、精一杯勤めさせていただきます。



小野田 兼策 です

5月からわかたけ萩の里でお世話になっています。約3か月の勤務ですが、感じていることは「わかたけ」全体がひとつの家族になっているような！素晴らしい職場にめぐりあえて、毎日が楽しくなっています。

法人・施設日誌（2025年3月～2025年7月）

- | | |
|----|--|
| 3月 | わかたけ萩の里・らふかっと・グループホーム防災訓練、理事会、わかたけの明日をささえる会役員会、わかたけ利用者と家族の会
笹川ふれあい春まつり参加、わかたけの明日をささえる会役員会 |
| 4月 | 内部中学校職業体験の受け入れ（わかたけ萩の里）、日帰り旅行（わかたけ |
| 5月 | ホームすまいる）、貝家町地域清掃（わかたけ萩の里）、笹川地区清掃活動（らふかっと）、健康診断（わかたけ萩の里、らふかっと）、わかたけの明日をささえる会総会、わかたけの明日をささえる会事務局会議、わかたけ利用者と家族の会総会、きょうされん三重支部総会 |
| 6月 | ふれあい農園収穫祭（らふかっと）、少林寺拳法祭、西日野にじ学園実習受け入れ（わかたけ萩の里）、南中学校職業体験の受け入れ（らふかっと）、理事会、評議員会、ささえる会事務局会議、きょうされん三重支部運営委員会 |
| 7月 | 聖母の家学園実習受け入れ（らふかっと）、ささえる会事務局会議、わかたけ利用者と家族の会 |

ご寄付ありがとうございました

法人・施設にご寄付いただきました。

水野 剛 様 稲垣 恵子 様 辻 和美 様

「わかたけの明日をささえる会」にご寄付いただきました。日頃からのご支援ありがとうございます。

古田 富大 様 舘 邦江 様 土門 尚子 様 （有）中部商会 様
平井 久男 様 加藤 秀樹 様 寛 幸三 様